

# 【概要版】(仮称)伊勢市地域公共交通計画(案)

## ■ 本市の公共交通の課題

課題①	地域の実情やニーズに応じた、使いやすく利便性のある路線への再編とその維持が必要である。	課題②	公共交通をうまく利用してもらうために、利用促進のための啓発・情報発信やニーズの把握、わかりやすい乗車案内を進めていく必要がある。
課題③	R15年の式年遷宮に向けて、二次交通を含む観光交通の更なる充実や、外国人も含めた観光客の公共交通の利用を促進する取り組みが必要である。	課題④	地域交通の担い手を確保し、持続性のある公共交通のあり方を交通事業者や地域の人と共に考え、実践する必要がある。

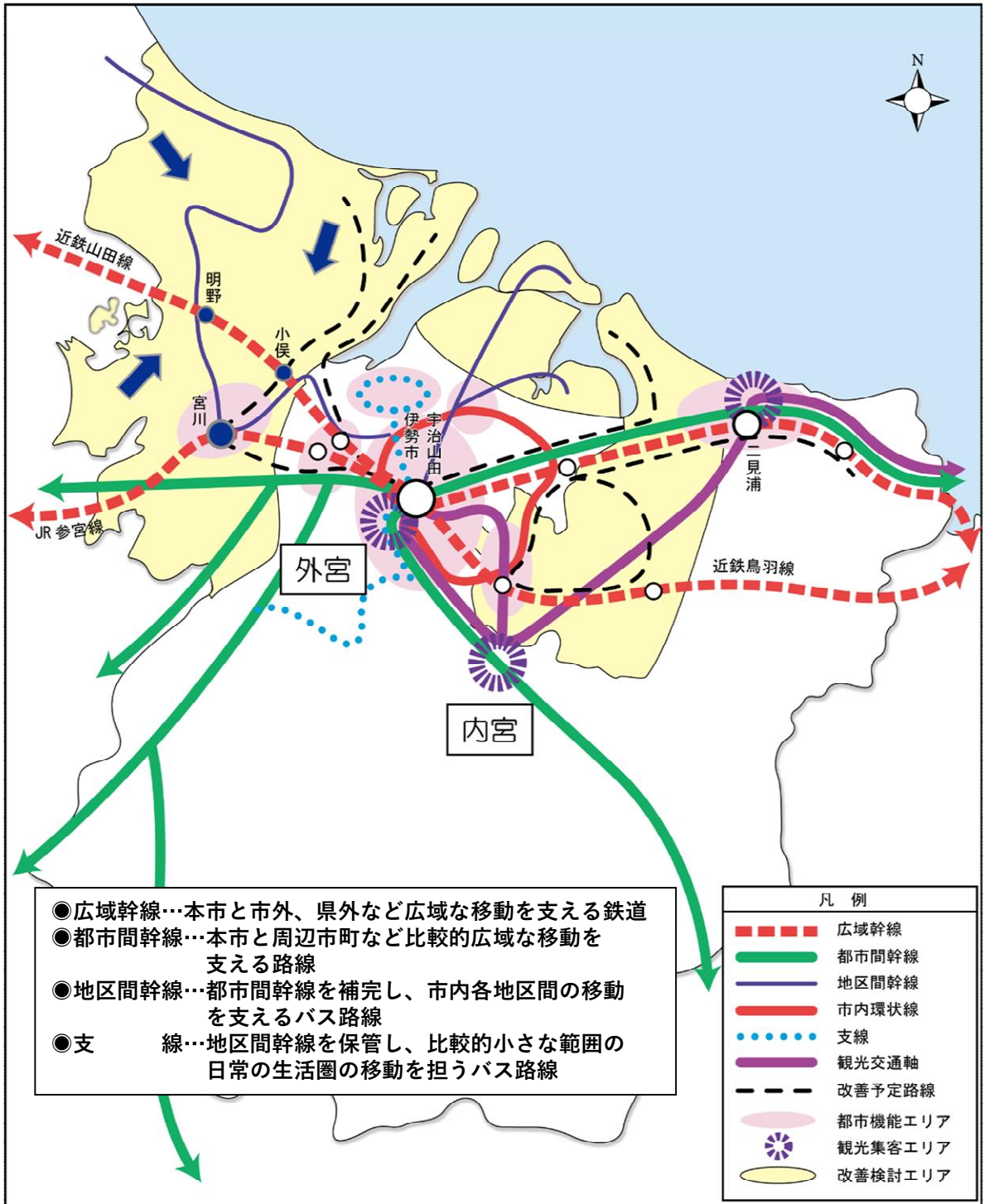
## ■ 将来像と基本理念

目指す将来像	基本理念
行きたい時に、行きたい場所へ、 住む人と訪れる人の自由な移動を叶える地域公共交通	私たちが「創り」「活かし」「楽しみ」「育てる」 持続可能な地域公共交通網の構築

## ■ 基本方針と目標

<b>基本方針1</b>	<b>創る</b> ～持続可能な公共交通を創って、 人と環境に優しい伊勢を実現する～ <ul style="list-style-type: none"><li>鉄道やバス、タクシーなど様々な公共交通の連携を図り、地域ニーズにあった円滑で利便性の高い公共交通網を形成します。</li><li>SDGsの実現やドライバー不足解消に向け、次世代交通の導入に向けた取組を継続します。</li></ul>	<b>目標① 路線網の維持・改善</b> <b>重点目標</b> <ul style="list-style-type: none"><li>(1)路線の維持・改善 (2)ダイヤ調整 (3)交通空白の解消 (4)周辺市町との連携強化 (5)運賃体系の見直し</li></ul> <b>目標② 周辺環境の改善</b> <ul style="list-style-type: none"><li>(1)わかりやすい案内環境の整備 (2)バス待ち環境の改善</li></ul> <b>目標③ 次世代公共交通の導入</b> <b>重点目標</b>
<b>基本方針2</b>	<b>活かす</b> ～公共交通を利用して気がねなく おでかけできる、楽しい伊勢を実現する～ <ul style="list-style-type: none"><li>地域イベントとも連携した広報やわかりやすい乗車案内、料金負担軽減策等を通じて、これまで公共交通を利用する機会がなかった方にも利用してもらえるよう、公共交通が使いやすい環境を形成します。</li></ul>	<b>目標① 利用するきっかけの創出</b> <b>重点目標</b> <ul style="list-style-type: none"><li>(1)公共交通への興味喚起 (2)公共交通を利用したお出かけを促進 (3)利用促進に向けた料金負担軽減策の推進</li></ul> <b>目標② わかりやすい情報発信による利用促進</b> <ul style="list-style-type: none"><li>(1)積極的な広報の実施 (2)わかりやすい乗車案内</li></ul>
<b>基本方針3</b>	<b>楽しむ</b> ～公共交通利用によって 観光も生活も充実する伊勢を実現する～ <ul style="list-style-type: none"><li>第63回式年遷宮に向けた交通環境の整備、MaaSへの取組などを通じて、マイカーによる「ショートカット観光」から公共交通による「地域を味わう観光」への転換を進めます。</li><li>飲食店や商業施設への移動など、住民が快適に外出できる公共交通網を形成し、回遊性の高い地域づくりを目指します。</li></ul>	<b>目標① 観光客の公共交通利用を増やす</b> <b>重点目標</b> <ul style="list-style-type: none"><li><b>目標② 観光満足度を上げ、何度でも訪れたいと思える公共交通観光の提案</b></li><li><b>目標③ 外国人観光客の公共交通の使いやすさ向上</b></li><li><b>目標④ 住民の快適な外出環境の整備による回遊性の高い地域づくり</b></li></ul>
<b>基本方針4</b>	<b>育てる</b> ～みんなで考え、地域で公共交通を支える 伊勢を実現する～ <ul style="list-style-type: none"><li>持続可能な公共交通を実現するため、市、交通事業者、住民の方々が一体となって公共交通を考える環境づくりを進めます。</li></ul>	<b>目標① 担い手確保</b> <b>重点目標</b> <ul style="list-style-type: none"><li><b>目標② 収入源の確保</b></li><li><b>目標③ 公共交通を考える</b><ul style="list-style-type: none"><li>(1)公共交通会議の活用 (2)地域自らが公共交通を考える機会の創出</li></ul></li></ul>

## ■ 5年後の本市地域公共交通体系のイメージ



改善検討  
エリア

バス利用者が減少し、運行の改善を検討する必要がある区域

## ■ 再編の方向性

利用者が減少しているおかげバス(鹿海・朝熊線、二見線)やおかげバスデマンドについては、地域との対話を通じてニーズを把握し、ニーズにあった運行路線、運行時間、バス停位置などを検討し、運行の改善を図ります。

また、利用者の減少や運転手不足により都市間幹線や地区間幹線等の路線バスの廃止が検討される地域については、多様な選択肢を提供しながら新たな移動手段について検討します。